



# 下大和田・小山町谷津田だより ー2020年12月号 No.226ー

## 【活動報告】

### <下大和田での活動>

報告：網代春男， 写真：田中正彦

#### 第250回下大和田谷津田観察会とゴミ拾い 2020年11月1日（日）

今日は千葉市の自然体験と合同の観察会になりました。めいめい捕虫網を持って谷津田を巡り生きものを捕らえて観察したり、湿地性植物を観察したりしました。この時期は様々なひつつき虫といわれる植物の種に出会えます。子孫を広く遠くに広げようとする植物の戦略を見たり、キバナアキギリの昆虫に花粉をつける仕組みを見たり、ヤナギタデやスズメウリを味わったりしました。

コバネイナゴ、ツチイナゴにはたくさん出会いました。捕らえてイナゴの特徴である喉元の突起を見たり、キタテハを捕らえてタテハチョウの特徴である前脚の退化している様などを見たり、ジョロウグモの巣を観察したりしました。

後半は小川に住む生きものたちとのふれあいの時間です。たも網に持ち替えて小川を探りました。

網を川へいれてもなかなか魚は捕れませんが捕れたときは歓声が上がります。皆が捕った魚とスタッフが捕ったものを持ち寄り、種類ごとにミルソウに入れて解説を聞きました。



魚7種、甲殻類3種などでした。たくさんのお会いを楽しんだ観察会でした。

参加45名（大人24名、高校生1名、小学生15名、幼児5名）

#### 第256回「古代米脱穀」2020年11月7日（土）

緑米、赤米、黒米の。脱穀をしました。どんよりとした曇り空で雨が降り出す予報もあったので早く来たスタッフで、すぐ作業を始めました。小さいお子さんも稲束を運んでお手伝いをしました。

脱穀と並行して皆で不要になった古い稲束を田んぼに投げ入れたり、おだ小屋を整理しておだの竹を片付けたり、マイ田んぼ分も含めてあっという間に作業は終了しました。おだもなくなって、何もなくなった田んぼは広く感じられました。早めのお弁当を食べて解散しました。

参加17名（大人13名、小学生2名、幼児2名）

#### 第257回YPP「もみすり」2020年11月21日（土）

YPP、マイ田んぼで作った5種のすべてのお米のもみすりを行いました。

今年はコロナ禍で作付けを減らすなどの対応をしたため、ほぼ正午過ぎにはもみすりを終えました。お持ち帰りのお米を分けている間、手の空いた方々で大草谷津を一巡りしました。紅葉もすすみ美しい大草谷津の景観を楽しみました。

今年は、収穫祭を行わないこととしたため、米作りに関する行事はすべて終了しました。

コロナ禍の下でしたが皆さんで力を合わせてご協力いただいたおかげで田んぼを維持することができました。ありがとうございました。

参加22名（大人18名、小学生3名、幼児1名）

### 森と水辺の手入れ 2020年11月15日（日）

しばらくはイノシシに荒らされた畦の修復作業が続きます。泥を上げたところは固まるまで立ち入らないようにしましょう。再びイノシシに掘り返されないよう祈るばかりです。

林内はナンテン、マンリョウ、ヒヨドリジョウゴなどが赤い実をつけています。フユイチゴの実も赤くなって口にできるようになってきました。つまんだり、赤い実を使ってリースを作ったりのお楽しみもありました。

参加9名（大人6名、小学生1名、幼児2名）

### <小山町での活動>

#### あすみ小脱穀 2020年11月5日（木） 報告：赤シャツ親父

あすみ小田んぼのにて刈られた稲は、小学校のエントランスホールにそびえる長い螺旋階段に干されました。11月5日はエントランス前の広場にて脱穀の体験学習を実施し、干された稲は30kgの玄米となりました。学習では、足踏み脱穀機、千刃こき、を使った脱穀から、粳とり藁選り、唐箕による風選、粳摺り機による粳とり、わら綯いの作業を体験しました。あすみ小の児童は120人を超える人数であるため、作業は4つのグループに分け、密集を避ける様配慮されました。昔ながらの道具の扱いに苦労しながらも、粳摺りによって最終的に玄米が現れる様や、残った藁が縄や馬などに変わる様子が新鮮であった様で、すり鉢による粳摺りと藁綯いに人氣が集まった様に感じました。

## 第 187 回 小山町 YPP「古代米の脱穀」

報告：たんぼぼ 参加者 3 名

気持ちの良い季候の中、脱穀を終わらせました。イノシシに稲が踏み倒されたり、カモ被害もありましたが、なんとか収穫にこぎ着け、また収穫量も昨年以上が見込まれた事に、ただただ感謝の思いがこみ上げました。籾摺り後の結果が楽しみです。

※ 同日、親離れしたと思われる猪の子 2 頭が畦を荒らしました。

### 【谷津田・季節のたより】

下大和田町 11 月 9 日 アカメヤナギに巨大なヒラタケ自然発生。  
11 月 14 日 ツグミ 今シーズン初観察。

報告：網代春男

小山町 11 月 7 日 唐箕掛けの軋み音にジョウビタキが応答。(赤シャツ親父)  
11 月 18 日 コジュケイの群れに今年も会う。(たんぼぼ)  
11 月 21 日 小山の一本楓、真っ赤に染まる。道行く人々の視線を集めている模様報告

報告：赤シャツ親父

### 【イベントのお知らせ】

参加費：小学生以上 100 円、森と水辺の手入れは無料

主催：NPO 法人 ちば環境情報センター 観察会は、ちば・谷津田フォーラムと共催

連絡先：小西 TEL.090-7941-7655 ,E-mail : yatsudasukisuki@gmail.com

### イベント中止のお知らせ

コロナ感染拡大防止のため次のイベントは中止します。

第 258 回 下大和田 YPP「収穫祭」 2020 年 12 月 21 日 (土)

第 259 回 下大和田 YPP「どんど焼き」 2021 年 1 月 9 日 (土)

### 次のイベントは感染防止対策を講じながら実施します。

#### <下大和田谷津田>

場 所：千葉市緑区下大和田谷津

集 合：現地。初めて参加する方は駐車場や会場をご案内しますので事前に網代（あじろ）090-2301-0413 までご連絡ください。

交 通：JR 千葉駅 10 番 成東あるいは中野操車場行きのちばフラワーバスで中野操車場バス停下車。  
徒歩 5 分で現地。<千葉駅発 8:25, 8:40 など、所要時間 45 分>料金は 550 円。

#### ・下大和田 森と水辺の手入れ

日 時：2020 年 12 月 20 日 (日) 9 時 45 分～12 時 雨天中止

持ち物：マスク着用、弁当、飲み物、長袖長ズボンの服装、長靴、軍手、帽子、敷物など

#### ・第 252 回 下大和田谷津田観察会とゴミ拾い

冬鳥を観察しながら谷津を巡ります。

日 時：2021 年 1 月 10 日 (日) 9 時 45 分～12 時 雨天決行

持ち物：マスク着用、筆記用具、飲み物、長袖長ズボンの服装、長靴、帽子、あれば双眼鏡、ゴミ袋、午後まで活動する方は弁当、敷物。

#### <小山町谷津田>

### 第 188 回 小山町 Y P P「古代米の脱穀」

今年収穫したお米を、もみすり機を使って玄米にします。

日 時：2020 年 12 月 13 日 (日) 9 時～ ☆小雨決行

場 所：土気 NGO・古民家

※ 一般の方の参加も若干名受付ます。

参加ご希望の方は、赤シャツ親父 (e-mail: tomizo\_i@nifty.com)までご連絡下さい。



## 令和2年度小学校田んぼ ~稲刈り編~

小学校田んぼでの最後の作業「稲刈り」が無事終了しました。鋭い刃物を使うとあって、不安を抱いていた子どもたちも多かった様でしたが、やはり収穫は田んぼのクライマックス。すぐに慣れると、これまでの苦労や、楽しさを噛みしめながら精いっぱい作業に勤しんでくれました。名残惜しさ、感謝の気持ち、お米の有難さなど、様々な想いを様々な言葉で伝えてくれました。(赤シャツ親父)

## 【大椎小学校 9月29日】

☆ 鎌で稲を刈る時の工夫がたくさんあって、びっくりしました。刈る順番だったり、稲の持ち方まで決まりがあって、米を大事にしている気持ちが良い伝わって来ました。(AA)

☆ 鳥のさえずりが無くなり虫の声が良く聴こえてきました。私は将来農家になりたいので、将来がとても楽しみです。稲作りは力仕事だと聞いたので、これから運動をちょくちょくして行こうかな、なんて思っています。(SK)

☆ 驚いたのは、稲が大きくなって、きれいな黄金色に染まっていたことです。とても立派で田んぼを埋め尽くしていました。(Y.K)

☆ 前行った時は稲が無かったけど、今日行って、たくさんの稲がなっていました。(RK)

☆ 初めての体験だったのでドキドキしました。でもやってみたらすごく簡単に楽しかったです。(N.T)

☆ ドロの中に入った時、キーンとして足がとても気持ち良かったです。(RD)

☆ 鎌が太い稲の束をスパッと切ってくれてあっという間に刈り終わりました。暇だったので刈り終わった稲を運んだり、足を洗う水の汲み替えなどをして、YPPの方の手伝いをしてみて「こんなに大変な事をしていてなんだな」と思いました。帰り、袋に入れられた稲を渡され、まるで、花のブーケのように「おめでとう」「がんばったね」という、YPPやボランティアの方々の思いが伝わって来て、しっかりと抱きしめて学校まで運びました。(RM)



(RM)



(AA)

## 【あすみが丘小学校 10月5日】

☆ 野球のくつしたをどろどろにした。つめたかった。(AK)

☆ 稲刈りには行けなかったけど、多目的ホールに稲を干しました。稲がとっても重く運び終わった後、腕がいたくなりました。(MN)

☆ 自然観察では色々な生物に出会えました。その生物たちは、色々な場所で命をつないでいるんだなと思いました。(S.T)

☆ 稲を刈っていると、人のために良い事していると思って楽しくできました。ボランティアに来てくれている人がすごく一生懸命に手伝ったり、教えてくれたりしたので、頑張って稲を刈りました。(SA)

☆ 入るとき「こんにちは」と元気に声をかけてくれてとても嬉しくてたのしみになりました。困っているとすごく話しかけてくれて、やさしくて温かくとっても私の大きい存在になりました。(SS)

☆ たんぼを見てみたらすごく稲が風にゆられて、きれいでびっくりしました。(K.T)

☆ 田んぼの中には虫が前より居ました。大自然なんだなあと感心しました。(IN)

☆ 教わったものを次世代につなげていかなければならないと思いました。大人になったら小さい子どもたちにこのことを教えたいです。(SF)

☆ もう谷津田に行くのがラストだと分かったときすごく悲しかったです。お母さんもお父さんも来て手伝ってくれて、いつもより楽しかったです。(H.M)

☆ 体中のパワーをほぼ出し切りました。(S.Y)

☆ 色がいくつかありました。黒紫、赤紫、黄色です。なぜ3色も色があったのか。



(AJ)



(SS)

知りたいです。(M.I)

☆ 鎌を使って稲を切ったり、むすんだりして、みんなと協力して出来たのが嬉しかったです。(Y.I)

☆ 「かまを使うの大丈夫かな？」と思ったのでお母さんの実家でのびている草を使って練習しました。スイスイいけるようになりました。まさに「鬼滅の刃」の「水の呼吸巻の型水面切り」のようでした。(RS)

☆ 来てみたら立派に育っていました。案山子のおかげだと思います。(KT)

☆ おいしいお米ができて、みんなと食べて、がんばりを言い合いたいです。(RN)

☆ 春の時とちがってタニシがあまりいませんでした。けど、土の中にいて痛かったです。(KY)

☆ イナゴがいっぱい飛んでいました。稲の葉っぱの先っぽがちくちくして痛かったです。稲は青臭いにおいがしました。鎌はじょりじょりという音がひげを刺ってるみたいでした。(YY)

☆ 稲刈りはおしいちゃんの家でやっているけれど、手で刈るのは初めてだったので、すごく不安でした。けれど、すぐ慣れて楽しくできました。草取りや、稲刈り、田植え全てで田んぼなんだなと思いました。(KU)

☆ 持ち方を意識しても、稲は頑丈で、なかなか切れませんでした。(AO)

☆ 稲刈りは土がカラカラしているイメージでしたが、土がドロドロしていてビックリしました。(NS)

☆ 1株についている米の量が少なかったです。米1つ1つがとても大切な物だと思いました。(AT)

☆ メダカがいたのでこんな泥沼でも生きていけるんだなと思いました。(YT)

☆ 歩くのはつらかったんですけど田んぼについたら開放された感じで楽になりました。学校についたら足がまた痛くなったので、足の筋肉をきたいたいです。(KT)

☆ どんどん楽しくなっていて「やだー」とかいいながらも楽しかったです。(YT)



### ★ 稲の成長を振り返る

## 小山谷津の風景

・梅雨明けが遅れるも8月に挽回、台風上陸が無かった事も良かった！

3月下旬、コロナ禍により社会的に混乱していた頃、苗代が作られました。小学校田んぼ実施も危ぶまれましたが、3密回避の様々な工夫の上実施が決まりました。

6月、長引く梅雨に度重なる順延が発生しましたが、10日に大椎小、26日にあすみ小の田植えが完了しました。早目の苗代作りが幸いし、苗の育ちは良好でした。

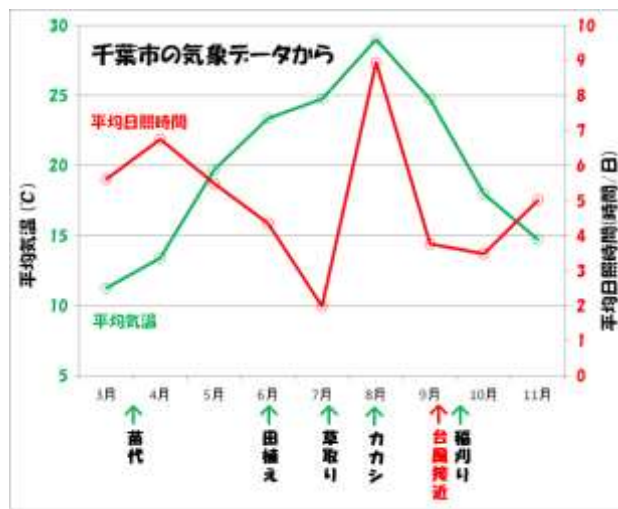
7月、関東は梅雨明けせず平均日照時間は2時間程、稲の成長が心配される中、草取りが行われました。

8月、1日に梅雨明け宣言。一転好天続き、雨は2日しか降らず、平均日照時間は何と9時間！平均気温もぐんと上昇する日々、18日に5体の力カシが作られました。

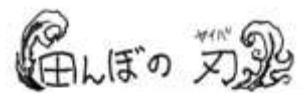
9月~10月、雨天も増え、気温、日照時間は急降下。日本周辺に3つの台風が接近しましたが、上陸は0！おかげで、稲への甚大な被害は無く、稲刈りを迎えることができました！詳細は、上の通りです！

### ★脱穀終了、来年1月、味噌仕込み実施決定！

10月29日、大椎小、11月5日、あすみ小の脱穀が終了しました。例年通り、収穫されたお米の一部を糶にしてもらい、1月に味噌仕込みを実施する運びとなりました。COVID-19は完全収束に至っていませんが、3密回避に万全を期し、実施出来る様準備を進めて参ります。



※ 気象庁ホームページ > 各種データ資料  
千葉市、よりデータを引用



■編集後記 ここまで来れた！関わって下さった全ての方々に感謝、感謝でございます。

さらに気を引き締め、完走する所存です！（赤シャツ親父）

※ 活動にご興味がある方は、tomizo\_j@nifty.com 赤シャツ親父 まで